

茨木市議会議員

あびこ浩子

ゆめ・みらい通信



連絡先：（あびこ浩子事務所）茨木市中穂積3丁目1-35

TEL&FAX 072-601-0569

（自宅）茨木市穂積台12-503

ウェブサイト：<http://www.hcn.zaq.ne.jp/abiko-h/>



穂積台事務所前にて（2013.1.26）

心あらたに!!議員活動再開!

みなさまからいただいた多くのエールを胸に
これからの4年間頑張ります!!

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

2013年1月の茨木市議会議員選挙におきまして、みなさまから多くのご支援をいただき、再び議会に送っていただきましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございます。多くの方のお力があるからこそこの結果に「自分一人では何もできない、けれど皆さんのお力があれば変えられる」のだと改めて感動いたしました。選挙期間中はご近隣の皆様はじめ多くの方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたこと重ねてお詫び申し上げます。みなさまのエールを胸にこれからの4年間「皆様のお力で作っていただいた議員あびこ浩子」が皆様のお役に立ち、みなさまにとって暮らしやすい街になるよう皆様と共に頑張ってみます。どうか今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

今年の桜の季節は、いっきに満開となり本当に美しかったですね。とりわけ小学校の入学式が行われた4月6日はお天気も最高で花に祝福されたスター

トでした。息が詰まるほどの春の風情に身を置きながら、私は長い間病院の中に居たことが嘘のように感じられました。1年前の桜は病院から出て間もなくで、杖をつきながらようやく眺めることができました。今年は桜の華吹雪のもとで春の風に吹かれることができました。誰もがこの同じ時間を花に癒され励まされ美しさに心躍らせながら、素敵なお時間を過ごす幸せを大切にしたいと思いました。それは、外に出ることさえままならなかった経験を通して身にしみて実感しています。ようやく街を自分の足で歩き始め、多



桜通りのしだれ桜

くの高齢者の皆様とすれ違ふようになりました。少しずつ歩いている移動と荷物を持つ移動の大変さはよくわかります。孤立せず人と繋がって生活するためには桜の下で「みんなに優しいまちづくり」を頑張ろうと

心新たにいたしました。

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了、大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人 Chacha-House 代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選／2013・1選挙3期目当選
- ◆夫、長女、次女、長男の5人家族

2013年3月定例議会報告



春爛漫！弁天さんの桜
& 穂積小入学式



高齢者施策を見直す審議会設置について

茨木市はこれまでの高齢者施策を総合的に見直すとのことで、今年度高齢者施策を見直すための審議会の設置をすることになりました。

昨年、福祉施設への指定管理者制度導入を決めるにあたり、高齢者については老人福祉センターの指定管理を進めるかどうかで何回も会議がもたれて指定管理導入を進めてきました。今回は高齢者に関する施策全体についての審議会をもたれるとのことですから、是非とも茨木市の実態をもとにした、特に高齢者の皆様が有効に活用いただける施策になるようにとの思いで質問させていただきました。

2025年には団塊の世代が75歳以上に到達し、高齢者人口のピークを迎えます。我が国は現在20歳以上の2・6人で65歳以上の高齢者1人を支えています、2030年には1・7人で一人を支えるようになります。国全体としての取り組みはもちろんのこと、地域に根差し

た地道な取り組みの方向をぜひとも見出して頂きたいとお願いいたしました。

なによりこれからの社会の人口構成を考えますと、高齢者の方々を単にサービスの受け手として考えるのではなく、サービスの担い手として活躍していただけるような支援や施策を打ち出すべきではないかと考えています。高齢者の方々のNPOや市民活動団体への支援、高齢者のリーダー養成、高齢者組織である老人会の支援なども必須ではないかと考えています。

高齢者が「葉っぱ」のコミュニティビジネスで自らが納税者となり、寝たきりがゼロになった四国・徳島県上勝町の取り組みのような仕組みが茨木市にもできたらと強く願っております。そこには高齢者の方の生きがいに満ちた笑顔がありました。茨木市にもぜひこの笑顔を！これからこの審議会の打ち出す方向をみていきたいと思っております。

〈あびこ浩子の実感〉

- 誰もが安心して暮らせる街、バリアフリーがきちんと守られるまちづくりが大切。
- 市民力を活かせる茨木のまちの取り組みが必要。
- みんなで知恵と力を出し合える、そんな「まち」だと良いな。
- 身近なまちで防災の街づくりには地域での繋がりが欠かせません。

第17号

新たな子ども子育て支援制度について

国が打ち出しています「子ども子育て支援新制度」が今年度4月から動き出しています。これまで要望してまいりました「地方版地域子ども子育て会議」も茨木市で設置するとのご答弁もいただきました。また、新たな制度のもとでの支援サービス量を図るための実態調査も今年度より開始されます。

この制度はこれまで子育て支援といえば仕事との両立として保育所への入所サービスがメインで動いてきていたものを子どもの育ち全体を見る制度として在宅の子育て支援、幼稚園、保育園、学童保育も視野に入れた制度です。国の機構から言えば保育園は厚生労働省、幼稚園は文部科学省ですから、国の補助金などの出所も違っていても年代の子どもの育ちに関わる事業をしていても全く別の動きとなっていました。これを内閣府で一本化し、予算の出所も一括

した上で、子どもたちへの支援サービスも一緒に考えていこうという制度です。一緒に考えるための「子ども子育て会議」を地方の実情に合わせるために地方にも置くことができるようにと強い要望の末に地方版も可能になった経緯があります。

たとえば待機児童対策、本市でも大きな課題ですが新たな制度のもとでは認可外保育施設での待機児童解消は認められなくなります。認定子ども園の設置や保育ママ制度の利用などが挙げられています。また、学童保育も6年生まで受け入れることが必須になります。茨木市の子どもたちの実態を踏まえ、母子家庭や養護施設の子どものことも必ずテーブルに挙げての「地方版子ども子育て会議」が進められることを切に希望しています。



中学校給食がはじまりました。選択制となっており家庭からのお弁当かランチ給食かを選びます。インターネット予約が可能です。



2013年度、議会での役割・・・

茨木市監査委員、文教常任委員会委員長をさせていただくことになりました

2013年2月、改選選挙後の議会での役割分担を決める役選議会が行われました。議長・副議長をはじめそれぞれの役割を会派ごとに代表者を出して決めていきます。

議会での3役と言われる議長・副議長・監査そして農業委員、淀川右岸水防事務組合・大阪府都市競艇組合・茨木市都市計画審議会・茨木市民生委員推薦委員・茨木市土地開発公社理事・安威川ダム建設推進協議会・茨木市青少年問題協議会委員などがあります。

私は「茨木市監査委員」と「茨木市青少年問題協議会委員」、そして委員会として「文教常任委員会」での委員長、「議会広報委員会」「安威川ダム対策特別委員会」の所属が決まりました。監査委員は毎月月例監査や補助金委託先の視察などがあります。新たなステージで日々勉強させていただいております。きちんと職責が果たせまよう精進してまいります。



茨木市成人祭で。あいにくの雨でした。晴れ着が可哀そうでしたが、若いパワーはキラキラ！でした。

